



理事長 白 方 松 雄

豊かな理容業の建設をめざす

全国理容環境衛生同業組合連合会

波濤を越えて

〈年頭所感〉

理容山形

— 発行所 —
山 形 県 理 容 環 境 衛 生 同 業 組 合
山形市相生町 8 / 51
郵便番号 9 9 0
電 話 02 0217 番代
振替貯金口座 山形1366
発行者 富樫 富太郎
編集者 保坂 菊治
購読料1部10円 毎月1回発行

全国の組合員の皆さま、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
昭和五十六年の新春を迎えて、まず願うことは、組合員の皆さまのご繁栄とご健康であり、また、ご家族および従業員の皆さまのご多幸であります。
昨年は「長期総合第一次五カ年計画」の第五年度目にあたり、過去四年間の成果の上に、多角的、有機的な諸事業を推進してまいりました。
なかでも括目に値することは、理政中央会を軸とした多彩な政策活動が展開され、その成果が着々と築かれていったことであります。この一年間に業界の政治力は、前年にも増して著しい

飛躍をとげたといえるでしょう。

ご承知のように、先の衆参両院同時選挙におきましても、わが業界の支援した候補者は各地で善戦し、衆議員一三九名、参議員三九名が当選するという快挙を果しました。なかんずく参議院全国区より立候補した斎藤栄三郎、田中正己両氏を共に上位当選に導いたことは、業界政治力の底力を如実に示すものであり、今や政界関係者の間では「理容の票は確実だ」と高く評価されているところであります。

四十八年の第一次石油ショックに続く五十四年の第二次石油ショックにより、石油依存度の高い主要先進国は大打撃を受けました。その中でいち早く合理化と減量化に取り組んできた日本経済は、巧みに安定成長への「軟着陸」に成功し、五十三年の経済成長率は五・七％、五十四年は六・一％と主要先進国の中で最高の数字をマークするに至りました。

しかしながら、打ち続く中近東諸国の政情不安のため、「油上の板圖」といわれる日本経済は、依然として根底から脅かされ続けております。比較的不況に強いといわれてきた理容業であります。昨年は公共料金や諸物価の高騰、加えて人件費の上昇により営業経費が増大する一方、消費者の節約意識の高まりによる来店頻度の低下、さまざまなたちでその影響を受けつつあります。

八〇年代は、「不確実・多様化の時代」といわれております。これはいまだかつて人類が経験したことのない新しい時代の到来を意味します。

アメリカの未来学者アルビン・トフラー氏は「いま、われわれの生活の中に、従来の概念でも想像も及ばないような新しい文明が出現しようとしている。それは歴史の動向を支配する中心的な出来事であり、このさき何年かの動きを理解する鍵である」と分析しています。これをトフラー氏は「第三の波」と名づけています。人類はこれまでに、二度の大きな変革の波を経験してきました。一万年前に農業の始まりによって起こった第一の波、産業革命によって引き起こされた第二の波がそれです。そして私たちはいま、その第二の波である工業化社会が終焉を迎えようとしている時代の真只中にいます。第二の波の時代を象徴してきたのは「画一化」「巨大化」でありましたが、第三の波の特徴は「脱画一化」「多様化」「個性化」といわれるものであります。

国民生活は極めて豊かになり、消費性向は「個性化」「多様化」の一途をたどっておりま。当然のことながら、理容に対する消費者嗜好にも大きな変化が生まれ、従来の衛生観念を主体とした生活必需品的なものから、さらにファッション性、レジャー性、クリニク性が強く求められるようになりま。しかしながら、理容業界は、まだそうした消費者の欲求に十分応えられる体制づくりがなされていない現状であります。その意味で、理容業の体質改善は刻下の急務となっております。そこで、業界の体質改善の大きな障壁になっているのが、皆さまもご承知のように、すでに今日の時代にそぐわなくなったまま放置されている「理容師法」であります。この現行「理容師法」は、戦後まもなく制定されたもので、当時の社会世相を反映して衛生観念を主体として作られたもので、現在のようなファッション性、多様性が強く求められる時代には、すでに対応できなくなっております。にもかかわらず今日まで、何ら抜

本的改正の手を加えられず、たとく温存されてきました。その大きな原因の一つは、業界政治力の弱さと理容業の実態を、一般消費者に理解してもらい働きかけが少なかったことにあります。全理連では、こうした時代の流れと業界のいま置かれてある現状を十分認識した上で、本年度の基本方針を打ち立てたのであります。それは、過去五年間の「五カ年計画」によってもたらされたもの、例えば全国における理容業の実態・意識の把握、業界政治力の高揚、対外PRによる理容業の価値づけ、潜在需要の開発等、数々の成果を踏まえて、多彩な諸事業を展開し、豊かな理容業の建設をめざして邁進する考えであります。

このことは、当然第二次長期総合計画として、引き継がれていかなければなりません。一方、個々の理容師の企業努力だけでは、どうしても乗り越えられない障害、つまり、理容師法をはじめとする関連法律を改正して、理容業の業権を確立していかなければなりません。そうした問題解決には、何といっても強力な政治力が必要になります。そこで、本年度の主目標を、昨年に引き続き政策活動および関連する事項について全力を傾注することといたしました。

その中で、とくに本年は、かねてより懸念中でありました「法制研究室」の積極的運営をはかり、政策活動をより効果的で高度なものにしていると考えてあります。また一方では、全組合員の実態・意識調査、理容業経営実態調査等の各種統計調査を実施し、理容業の現状を広範囲なたちで把握するとともに、政策活動の裏づけ資料として多面的に活用していく考えであります。しかしながら、「政治的解決を必要とする問題は全理連にまかせておけばよい」という、いわゆる他力本願的な考えが、組合員の脳裡に少しでもかすめるならば、この政治活動は根本から崩れ去ること知らねばなりません。なぜなら、政策活動の原動力となるのは、十二万組合員の力の結果以外にはあり得ないからであります。理容師法の問題にしても、行政改革問題にしても、皆さまの日々の営業にかかわってくる重大事項であり、組合員一人一人の問題でなくして何でありま。組織と組合員は、人体と細胞のごとく一身体であり、個々の組合員がその任務と責任を十全に果たしてこそ、組織体に生氣はつらつとした力のみながってくるのであります。全国の組合員の皆さま、新しい年の出発にあたり「組織が何を与えてくれるかを問う前に、自分は組織に何を与えることができるか」を自ら問うていただきたいと思うのであります。業界をとり巻く社会・経済情勢は、昨年も増して厳しさが予想されます。まさに疾風怒涛の荒海を行く思いであります。業界はいま、第二の波を乗り越えて、いよいよ第三の波涛にからんとしております。この第三の波を巧みに乗り越えて、豊かな理容業の明日を築いていくためには、全組合の団結力から生まれる強力な推進力と全理連の舵さ

ばきが絶妙に一体となって作動しなければなりません。全理連は、十二万組合員を乗せた「理容丸」の船長として、その重大な責務を果すべく、幾万里の波濤をも乗り越えて

年頭のごあいさつ

理事長 富樫 富太郎



新年明けましておめでとー御座います。

新しい年とともに、新しい業界の在り方が深く検討実施のときに来ていると存じます。各業界が自らの足もとから、どうあるべきかを深く掘り下げて、自立繁栄の途を

いく決意であります。輝かしく明けた昭和五十六年の年頭にあたり、所信の一端を述べ、年頭の辞といたします。

拓かねばならないときです。この業のもつ使命感とその持ち味を充分に活かされて、この業界の一店一店が増収に向かって企業努力をおこたつてはなりません。主・従・家族共々に豊かで楽しい暮らしをされる様な業界をつくるため、全員一丸となつて頑張りましょう。さて昨年は本組合の創立以来の大きな事業であつた理容会館の建設こそ、きびしい状況下で完成させた本県業界の偉大な団結力と相互理解の顕著な現れでしょう。

選組合長が(当時の衛生課長又は警察の方)昭和十九年五月青柳重助初代理事長が就任するまでつづいたそうです。その後、青柳理事長が在職二十四年、その間昭和三十六年に現在の用地の買収の一大難事をやりとげてくれたこと。以後いく度の総会総代会等に会館建設の議案が提案されましたが、どうしても合意を得ることが出来ませんでした。二代佐藤平造理事長、三代嵐田前理事長と当時の状況を知り理容業者も数少くなり、淋しい限りです。今年こそ環衛会館が建つと、嵐田前理事長の時代からの建設計画も、あれ程進展しながら結局は環衛団体内の問題から挫折してしまいました。私も此の時にあたり、先代からの建設計画を知る一人として、又本組合百年の大計の前に早速理事会の承認をとり、各ブロック各支部組合員の合意を得られたことはほんとに感謝の極みです。多大の出費も御理解下され、十二月吉日に目出度く完成いたしました。然も、今年は昭和五年の組合創立以来五十周年目にあたり、これも何かの

機縁でありましょうか。めでたい限りであります。

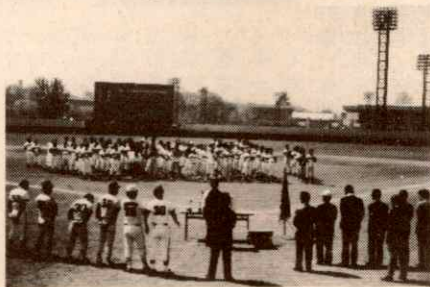
さて、新理容会館の内部を御紹介しあげますと、一階は事務室及び来賓室と、広いスペースの中で執務することが出来、更に遠来の組合員も利用出来る和室二間(十六畳)部品格納庫、水洗トイレ男女二基、二階は八〇名収容大ホール、控室には近代理容椅子前洗面設備、部品格納庫、水洗トイレ男女二基と、それに各室冷暖房完備を施し、主体工事、協和ハウス社が施工し、高陽電機KK空調関係東菱電機KK等の各社が近代技術を駆使されて完成致しましたその御苦労に心から厚く御礼申しあげます。こうした理容会館を組合員の心の寄り処、繁栄の礎として時代と共に前進させなければなりません。又建設にあたりましては格段の御協力を賜りました各友好商社、更に又山形県当局及び関係各位には、心から厚く御礼申しあげます。そして私共業界もきびしい社会状況の中で常に理容教育の充実を図り、衛生的、快感的、技術とサービスをお客様に提供しなければなら

りません。又本組合従業者一同の健康を守り、生活基盤の安定を図るためには、全理連の五大共済事業の活発なる加入をおすゝめいたします。わざわざいはれた頃にやってくる。普段の心がけが大切なことです。又最後になりましたが政治意識の高揚の事ですが、これは全組織挙げて政治の動向に敏感に連動する許容度を持つために良く勉強しなければなりません。とくに本業界の基本の理容師法に定められた業務独占を名称独占に改悪する様なことは、一丸となつて阻止せねばなりません。暗中模策の八〇年代とか申しますが、同業者一同が強い連帯意識の輪をひろげ、知恵を出し合い、自分のお店の繁栄増収の道を拓き輝かしい希望の丘にのぼれる結構な今年の「えと」西年にあやかりたいことと、組合員一同の御幸せを祈念いたしまして、私の年頭の御あいさつといたします。



第三回山形県理容組合野球連盟主催 理事長杯争奪リーグ戦閉幕……

五月開幕した第三回リーグ戦も、十月十三日山形を会場に最終戦を行い、全日程を終り総合力に優る長井クリップが三年連続の優勝に輝き、理事長杯を手に入れた。二位には、快速球投手、花山君をよする天童マントルズ、酒田ニュースターズが三位に食い込む健闘をみせ、冷夏、永雨にたたられたシリーズでしたが、それにも負けない盛り上りのある大会で、他県との交流試合も活発になり、野球を通して広がり、和が大きくなりました。



優勝	長井クリップ	青木	政弘 (長井)
準優勝	天童マントルズ	青木	清男 (〃)
3位	酒田ニュースターズ	坂田	繁孝 (〃)
4位	山形、山形球	河合	慎一 (山形)
5位	米沢シザース	花山	勝広 (〃)
6位	鶴岡パーパース	佐藤	豊 (酒田)
7位	南陽トラーズ	本間	孝男 (〃)
8位	藤島ビクトリーズ	足達	齊藤 (鶴岡)
9位	寒河江、理青	本間	邦弥 (〃)
10位	村山ジャイアンツ	佐藤	幸一 (〃)
11位	最上理容	山口	勝美 (村山)
最優秀選手賞	青木 政弘 (長井)		
ホームラン賞	丹治洋次郎 (米沢)		
	山口 信夫 (〃)		

試合結果

長井	米沢	南陽	山形	寒河江	天童	最上	藤島	酒田	鶴岡	勝・敗分
長井	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10:0
米沢	×	○	×	○	×	○	○	×	×	5:1
南陽	×	×	×	○	×	○	×	×	×	3:7
山形	×	○	○	○	○	○	×	○	×	7:3
寒河江	×	×	×	×	×	○	○	○	×	3:7
天童	×	○	×	○	○	○	○	○	○	8:2
村山	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2:8
最上	×	×	×	×	×	○	×	×	×	2:8
藤島	×	×	○	×	×	○	×	×	×	3:7
酒田	×	○	○	×	×	○	○	○	×	7:3
鶴岡	×	○	×	○	×	×	○	×	×	4:5

事務局 長井 佐藤 保雄

『県理容講師会村山ブロック 東京にて研修会開催』

来る、十一月十五日より八日の三泊四日の日程で、東京に於いて村山ブロックの講師研修会が行なわれました。この目的は、研修(ニューヘアー)と観光を兼ねた親睦の旅行である。

会員中二十八名出席のもと十五日午後十時三十分山形出発。一路東京へと向った。バスは四十五人乗りでゆったりくつろぎながらの大名研修旅行である。

第一日目の十六日は都内観光。この日は女子国際マラソンも行こなわれ交通規制の中、浅草(朝食)、皇居、靖国神社、迎賓館、絵画館、明治神宮、東京タワー(昼食)、NHK放送センタを見学、午後三時三十分頃、宿泊になっているホテル機山館に入る。午後六時三十分より反省を兼ねた夕食会、酒が進むにつれて会員全員によるカラオケ大会で一日を終る。

十七日(二日目)はメインコース朝食は七時と早く、日程もぎつしりと秒きさみ、第一の目的である中央理容学校に、この日は、中央学園祭、生徒達のさまざまな飾りつけ、研

究発表並びにバザー祭も重なり一応一通り見学し、学校の一室を用意してもらい「81」ニューコレクション「マインド」の研修、講師には中央講師である吉田靖弘氏、校長の挨拶もあり、学校側の気のつかいように頭が下がりました。講師の内容も判りやすく説明下され、時間も予定より三十分ばかりオーバー。ぎみの熱の入りよう、昼食も学校側で用意された生徒手作りバザー店の焼ソバをかみかみ学校と別れをつげ、次の目的である理容器具問屋訪問、最新式の器具等を見学して引続き夜のコース(はとバスにて)夜の東京を満喫、バスの都合二手に別かれ、日劇ミュージック、赤坂ミカド並びに豪大な食事と有意義なる研修も午後十時三十分には終了、帰途のバスに、バスの中は夜の東京の思い出話に花ざかり、一路山形に。この研修会に於ける成果の充実さと、満足さとに酒酔いして心良いバスの振動にゆられ、楽しかった出来事を夢見ながら、十八日朝四時山形に到着しました。

会員よりまたぜひこの様な計画をと望まれ、約束しながら別れました。行く時より帰りの荷物(みやげ)の方は大きく重く、でも足どりは軽く家路に向いました。

鶴岡支部便より

記 岡崎 正之

早やばやと鶴岡支部青年婦人部クリスマスパーティーの夕べが好天に恵まれた十二月一日午後四時より市内山王プラザ三階大ホールで開かれました。一九八〇年最後の行事でしたが今迄にない多数の人が参加されました。青年部長佐藤喜一氏の司会で行われ支部長佐藤正志氏のあいさつがあり、次に組織部長佐藤与一氏のお話があり、次に皆んなでビール及びワイン・ジュースでカンパイを行いました。そして皆さんがほんのりした所で大衆ダンス・ワルツ・タンゴ等の音楽に合せて年をわすれておどり、途中余興などもあり、飲み食べ皆さんがゆかいでした。終りに志田忠一氏の音頭でパンザイを行いました。皆さんへ花一枝とケーキ一箱づつを胸に頂き、楽しい一夜をすごしました。来年の盛会を期して無事七時半頃終了しました。支部長及び佐藤与一氏佐藤喜一氏外会員の方々、ほんとに御苦労様でした。

鶴岡支部広報部長

宇佐美豊太郎